

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 069	提案機関名 全農神奈川県本部 農産部
要望問題名 神奈川県農業等の県民への理解醸成について(継続)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 神奈川県産農畜産物の消費拡大、神奈川県の自給率向上には神奈川県民の理解、支援を得ることが重要である。 現在、神奈川県においては『かながわブランド』『湘南ゴールド』をはじめとした特定品目によるブランド化をすすめているが、併せて消費者に対し神奈川の農畜産物、従事者、多面的機能等のPR強化による県内一次産業の知識向上および理解を深めることによる利用率、自給率向上をすすめることも重要である。 そのための手法、対策、媒体を引き続き研究していただきたい	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	経営情報研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地産地消関心促進のための支援手法の検討(H20～22)			
対応の内容等 当所では、「多様な農産物流通販売に関する調査研究」や「地域農業活性化に関わる調査研究」の中で、インターネットによる情報発信や農業検定の実施は農林水産業のPRに有効であることや、県民参加による県産農産品の関心促進の手法について報告を行っています。この手法や対策を複数組み合わせることで、地産地消の関心促進が可能と思われれます。 しかし、本県の多様な農業において、利用場面は対象の農産物、地域別の事例に応じた手法の組み合わせが必要と思われれますので、具体的な事業実施の際に御要望に応じて最適な手法と実施計画について、アドバイス、情報提供等の協力をいたしますので御相談下さい。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			